

## コミュニティ通信・いけだ

第3号

平成20年10月1日発行

(池田小学校区の皆様へ)

★会員募集中★

あて先・池田地域コミュニティ推進協議会

申込み・072-750-5125(FAX)

住所・氏名・電話番号

## ● 自主防災組織設立における防災啓蒙施設見学バスツアー発車

市内の他の小学校区にはすでに自主防災組織が16団体ありますが、池田小学校区にはこの組織がありませんでした。私たちの校区にも自主防災組織が必要と考え、池田地域コミュニティ推進協議会では防災部会を立ち上げました。この部会では防災の重要性を学び、地震被害を最小限にとどめる方法として、

- ① 「自主防災組織の必要性の啓蒙」
- ② 「自主防災組織設立への勉強会・情報の提供」
- ③ 「啓蒙施設活用した震災体験」を行うこととなりました。



熱心に見学する参加者

その一環として、7月27日(日)防災施設見学バスツアーの第1回目は、建石町町内会39人、一般公募8人、市から2人の49名を乗せて淡路島に向かいました。(最終的には6台300人予定)北淡震災記念公園野島断層保存館(国指定・天然記念物)では、地震災害保存館を見学し、また、神戸市の阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターでは、映像と音響で再現した疑似地震を体験しました。

この両施設通じて、地震の規模や(平成7年1月17日 午前5時46分発生 M7.3 震度7 死者6,434人)救助の様子を見学し、往時の悲惨な様子を思い出すことができました。

感じ方は色々あるでしょうが、この見学で、私の印象に残った、辛うじて生き延びることができた地震被災者の生々しい声を紹介しますと……

「何が起きたのか分からなかった」「恐怖が襲うもうダメだ」「大地から水や砂が吹く」「必死だった」「無事です」「安心して」「家族の大切さを実感した」「全国から『愛』が(救援物資)」「想像を絶する生活(避難生活)」「がまんがまんの連続(日常生活)」「人間のあたたかさ(助け合い)」「じっとしていられなかった(ボランティア)」などです。

私たち住民として地域防災のために、今後何をすべきかの答えを探したら、次の思いにいたりしました。

震災映像に見入る参加者



- (1) 平素からの地域コミュニティの推進(活性化)
- (2) 近隣住民・自治会等での(助け合い)
- (3) 地域防災力の充実(備蓄の推進)
- (4) 住宅の耐震化(安全な地域作り)
- (5) 日常生活も含む地域ぐるみの防災学習の実践(地域防災を支える担い手づくり=子どもに学校教育と家庭で話し合いを)

最後に、『災害は突然にやってくるので「防災対策」も必要ですが、防災には限界があり、今後は「減災対策」を考えるべきだ。』との言葉に触れることができたのがこのツアーに参加しての新たな収穫でした。(M・O 記)



## ●池田地域コミュニティ推進協議会 防災啓蒙施設見学会に参加して

震災当時のまき保存された活断層

夏の太陽がまぶしく照りつける8月3日の日曜日、大和町を始め池田小学校区の各町から参加の51名が1台のバスに乗り合わせ神戸市にある「人と防災未来センター」へ。池田市危機管理課の高橋さん・市民生活課 乾さんも参加されました。車内では池田市における災害状況や危機管理について高橋さんから話がありました。センターでは1995年1月17日一瞬にして6千数百名の尊い命を奪った阪神・淡路大震災の記録が展示してあり、シオラマや映像・音響で当時の悲惨な状況がまざまざと思い起こされ、今更ながら胸の詰まる思いがしました。そこでは偶然にもお越しになった秋篠宮殿下ご夫妻をお迎えすることができ幸いでした。



その後、明石海峡大橋を渡りSAで各自昼食の後、淡路島北淡震災記念公園にある野島断層保存館を見学。施設の中では震度7を実感できるコーナーもあり体験をいたしました。あまりに激しい揺れに座っている椅子から落ちそうになり、前の固定机を持つ手に力が入りました。地震による地面の大きなズレや断層が横切る家屋をメモリアルハウスとして保存してあり、自然の脅威に圧倒されると同時に防災の大切さを改めて実感した1日でした。 (K・N 記)

## 部会だより

防災部会

- ・バスにて防災啓蒙施設を見学（人と防災未来センター・北淡震災記念公園野島断層保存館）  
（7月27日・8月3日・9月7日・9月14日の4日間で約200名参加）
- ・9月1日付けて2つの防災組織が結成されました（城南および大和町）

防犯部会

- ・7月に辻ヶ池公園東側に2基の防犯灯を設置しました。
- ・他28基の街路灯も9月中に設置を完了しました。

辻ヶ池公園防犯灯



広報部会

- ・掲示板の設置が完了しました。（9月10日～11日）
  1. 新町池田会館
  2. 伊古太神社南側石段下
  3. 西本町町会倉庫
  4. 佐伯駐車場西側フェンス
  5. 星之宮神社北壁面
  6. 市立学校給食センター東側

池田中学校は、  
こう考えています



## MTP（マイタウンプロジェクト）ってな～に？

一言で言うと、「地域と密着した学校づくり」と言う事です。生徒たちが、いつも生活している池田の事をもっと深く知り、自ら進んで地域の方々とより良い関係を築くことが大切で、このことがこれからの教育に必要なと感じています。すばらしい教育資源を抱えているこの校区において、多くの子どもと大人と一緒に動くことで『元気な学校・元気な地域』を作って行こうと考えています。

池田中学校で出来ることがあれば何でもご相談下さい。（校長 横山 泰介）

## 編集後記

池田地域の皆さん、こんにちは！暑さからやっと解放された日々をお過ごしだと思います。「コ・通信・いけだ」第3号をお届けします。防犯、防災、広報3部会の平成20年度事業もほぼ計画通り実施されていますが身近に何か変化を感じられましたか？現在、当協議会では平成21年度事業計画を策定中ですが私たちと「一緒にやっとう！」という方々を募集中です。ぜひご応募ください。待ってま～す。 (広報部会スタッフ一同)